

第 3 回 向日市公共施設等総合管理計画検討委員会 議事概要

1. 開催日時

会議日時 : 平成 28 年 9 月 29 日(金) 14:00 ~ 16:00

場 所 : 向日市役所 本館 3 階 大会議室

2. 出席者

委 員 : 石原修委員、香本和也委員、中西ひろみ委員、中村尚夫委員、横山幸司委員

事務局 : 物部総務部長、鈴木総務部副部長兼総務課長、谷澤総務課主任

傍聴者 : 9 人

3. 審議内容

- ・ 公共施設等総合管理計画(素案)提示
- ・ 意見交換
- ・ パブリックコメントの実施について
- ・ その他

4. 議事概要

公共施設総合管理計画(素案)の対する意見交換

- 30 年間で大幅な人口減少が考えられ、高齢化が進み、子供たちの数が減少する時代になっていきます。管理方針の中で、文化系の施設や健康づくり系の施設は縮小より拡張、また学校教育施設や子育て支援施設に対しては、人口の推移を鑑みてもっとめりよりの利いた表現にして欲しいと思います。(委員)
- この計画は 30 年という長いスパンでございます。素案に表記しましたとおり、PDCA サイクルにより見直しを随時かけていきます。あくまで今はこの表現をさせていただいております。(事務局)
- 歳入の推移にもあるように財源もこれから減っていくと想像できます。その上で方針を考えるならば、優先順位をつけて早く具体化していかないといけないと思います。目に見えて優先的に取り組まなければならない施設もあります。そういった施設の対応等をもう少し前向きな姿勢を見せていただきたい。(委員)
- 基本方針、管理方針を出したら終わりではありません。そこから施設毎に具体化していきます。総論は賛成でも各論で反対がでてくることもあります。遅れていく間にいろんな課題がまた出てきますので、早く優先順位を決めて計画実行して欲しい。高度経済成長期と違い、施設をどんどん建てていく時代ではありません。最近耳にした言葉が拡大、拡充でなく、「縮充」です。知恵を絞り、縮小して充実した施設改革を早期に進めて欲しい。(委員)
- お二人の委員がおっしゃっているのは主に市民会館かと思います。各論の市民文化系施設の中で適正な施設規模の確保と機能の複合化、さらには建替えも含めて検討するという表記をさせていただいて、今後個別計画の中で、より詳細な表記、詳細な計画を掲げていきたいと考えております。(事務局)

- 個別計画での専門的な議論は必要不可欠ですが、維持することが目的のようになり、財政的に全体的な視点での議論はしづらくなってきます。この総合管理計画が個別計画で実行される際にも、全体をフォローしていく何らかの組織が必要だと思います。(委員長)
- 多くの公共施設が 30 年以上経過して老朽化が進んでいるのが第 1 回委員会で分かりました。管理方針の素案の各論では、点検、診断等全て同じような表現をしています。例えば、30 年後にふたを開けたらそのまま放置状態でした、というような具合にならないよう他の委員がおっしゃるように優先順位を決めて計画を進めていただきたい。(委員)
- 個人的な見解としては全ての分野に複合化、集約化、PPP 活用等あらゆる検討をすべきです。行政の立場ですと反対運動等の問題もあり、明文化できないのも分かるので、そこに配慮した表現になっているのだと思います。しかし、これから具体的な個別計画の中では、やはりもう少し踏み込んだところまでいかないと何ら今までと変わらないと思います。(委員長)
- この計画が完成すると冊子ができると思います。市民の声は重要だと思いますが、委員会以前に行われた市民アンケートは掲載されるのですか。(委員)
- 当然、市のホームページに出しますし、冊子でも同じように掲載させていただきます。また、合わせて概要版も作成予定です。(事務局)
- 管理方針(10)その他施設について、もう築 40 年以上経過していますが、活用方法とはどのようなことを想定されているのですか。(委員長)
- 旧第 1、旧第 3 保育所ですが、現在は倉庫として使っております。また昨年寄附された築 40 年以上の住宅も合わせまして、今後どのようにするかということでこのような表現にしております。建物自体が古いのでその建物をそのまま活用していくというのは危険であると考えております。(事務局)
- 管理方針(9)上水道施設ですが、今年度から耐震に関わりいろいろな施策が実行しています。そうしますと、この表記は少し後退しているように感じるので、もう少し前向きな、具体的な表現はできないかなと思います。(委員)
- アセットマネジメントを既に実行しておりますので、表記を十分考えさせていただきます。(事務局)
- 総合管理計画は PDCA によって、細かいことが決まってもスパイラルアップしていく方向を示しているということですが、そもそも、連携すべきふるさと創生計画から総合管理計画がでてくるような流れならば、創生計画に、先程委員がおっしゃられたいわゆる「縮充」を組み込み、総合計画の中では単純に複合化、集約化でなく可能であればもう少し踏み込んだ表現をして欲しい。PDCA で見直されると言う、逆に言えばどんな表現もできるわけで、そこをもう少し元気を出して、コミットしていただけたらなという感じがします。(委員)
- それぞれの個別施設の額を載せていて、これでよく分かりました。でも例えば施設を統廃合した場合のシミュレーションまでしたのでしょうか。(委員)
- シミュレーションは行っておりません。現時点におきまして、向日市については合併を行っていないことから、合併に伴う同種施設の重複保有がない一方で、施設の縮減や再配置によって施設総量の適正化を図ることは難しい状況にあります。要するに適正な施設規模であるという認識でこのように表記させていただいております。(事務局)

パブリックコメントの実施について

- パブリックコメントにつきましては、11 月 1 日から 11 月末までを予定しております。広報むこう、また市の HP を通じ実施をお知らせさせていただきます。あと、この原本につきましては、市役所をはじめ、市内の公共施設に置いて見ていただくという形を取らせていただく予定です。（事務局）

その他意見

- 市に対しては何回も同じこと言っていますが、寺戸地区は、市の 43%抱えています。そして公民館等の施設はひとつです。また、私は小学校一つに対して自治会一つでいいと思っています。現在寺戸地区からは 5 つの小学校に行っているわけです。そういった基本的な見直しをする姿勢が全くなしで、こういう検討してもだめだと思います。多くの委員会等務めていますが、いくら懸念的な意見を言っても、実際既存の形を変更してでも改善しようという方向には一切動きません。ストレスを軽減してくれるような検討を期待しても結局何にも変わってくれません。（委員）
- 日本全国の自治体の問題だと思います。どこの自治体においても、これからは人口減少社会、高齢化社会等の問題に直面し、それに見合った組織体制というのをもう一度考え直さなければいけません。是非向日市さんでもご検討いただきたい。私は応援いたしますので。（委員長）